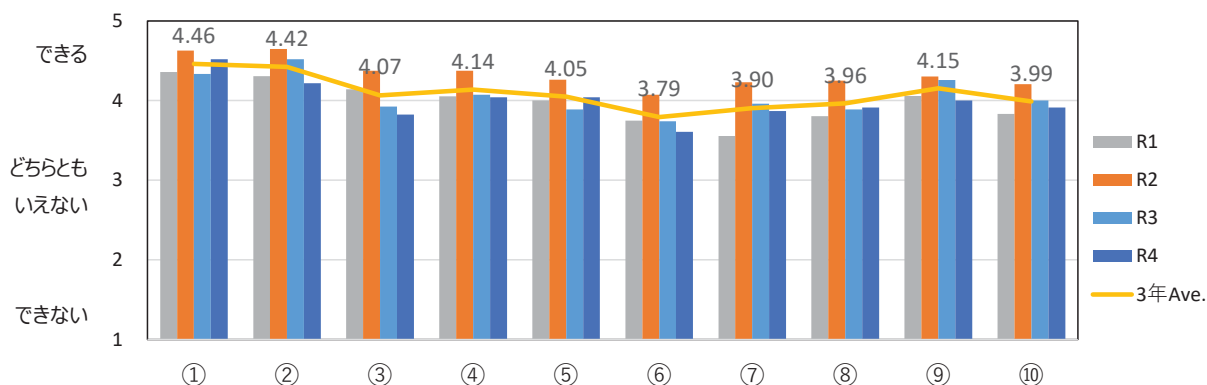


## 過去4か年の経年比較（薬学部）

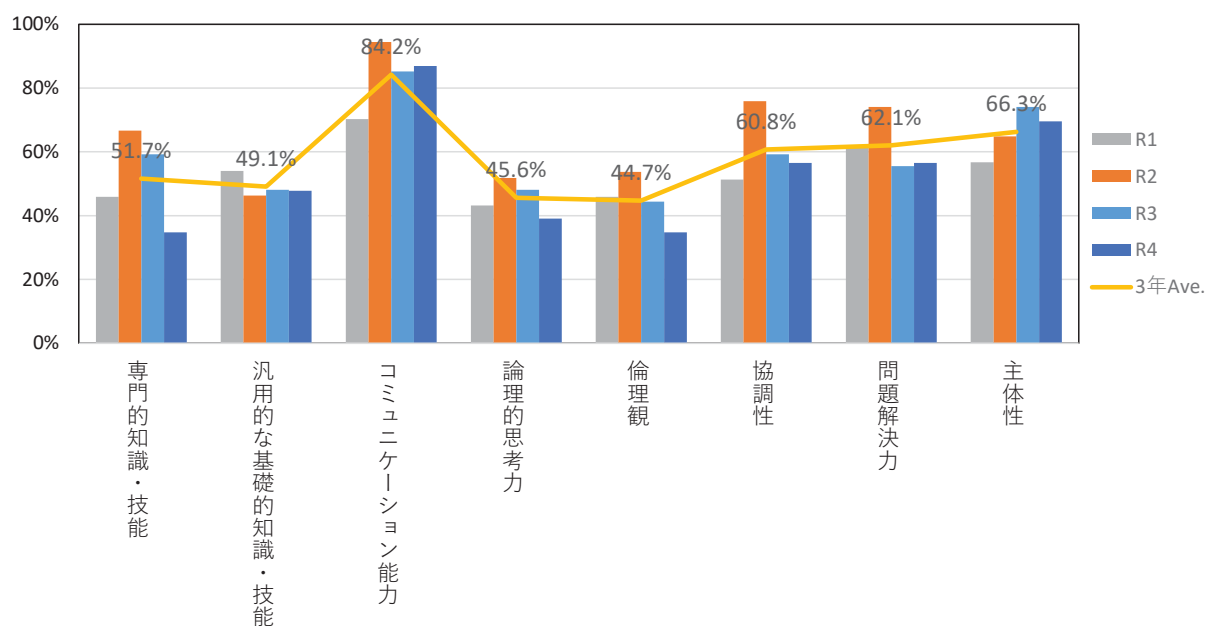
### ディプロマ・ポリシー達成度に対する評価



1. 医療人としての倫理観を備え、患者・生活者の視点を考慮し行動する。
2. 医薬品を理解して適正に取り扱う。
3. 医薬品および関連する法規・制度、公衆衛生等について、医療人のみならず一般人にも分かりやすく適切に説明する。
4. 適正な医療の提供および国民の健康維持・増進のサポートに貢献する。
5. チーム医療において、患者・生活者、他職種から情報を適切に収集し、これらの人々に有益な情報を提供するためのコミュニケーション能力を有する。
6. 医療施設や地域におけるチーム医療に積極的に参画し、相互の尊重のもとにファーマシューティカルケアを実践する能力を有する。
7. 薬学・医療の進歩と改善に資する研究を遂行する意欲とそれを実践するための基本的な知識・技能・態度を有する。
8. 医療における問題点を抽出し、科学的・論理的に問題解決を実践する意欲と態度を有する。
9. 薬学・医療の進歩に対応するために、医療と医薬品を巡る社会的動向を把握し、生涯学習を実践していく意欲と態度を有する。
10. 次世代を担う医療人を育成する意欲と態度を有する。

- 4か年とも同じような評価を受けており、全体的に「できる」「ある程度できる」の回答が多い。
- 特に「倫理観」や「医薬品の適正な取り扱い」といった基本的スキルの達成度は高い評価を得ている。
- 「チーム医療・ファーマシューティカルケア」「研究マインド」「問題解決」の達成度は比較的低く推移している。

### 本学の教育に求める内容



- コミュニケーション能力に対する要望が特に高い。次いで、主体性、問題解決力、協調性などの要望が専門的知識よりも高く推移しており、ジェネリックスキルの重要性が伺える。